

静岡県生協連

N E W S



2018年10月発行

〒420-0031 静岡市葵区呉服町 1-3-14

YS 静岡呉服町ビル 8F

{TEL} 054-253-5987

{FAX} 054-272-6971

{E-mail} mt-fuji@msa.biglobe.ne.jp

{HP} http://shizuoka-kenren.jp

行政との 連携・協同

静岡県暮らし・環境部県民生活課との連絡会

【日時】2018年7月27日(金) 15:30~17:00 【場所】ユーコープしずおか県本部会議室

静岡県生協連は、県行政との協力・連携をすすめることを目的に、毎年「県民生活課・県生協連連絡会」を開催しております。本年も以下の内容で開催しました。

【参加者】静岡県：小池県民生活課長代理・鈴木消費者支援班長・近藤消費者支援班主任

県生協連：稲垣会長・佐竹副会長・宮崎専務・中村常務・江崎常務・尾上理事・芹澤理事・田口理事・藤崎理事・増田理事・丸山理事・望月理事・長谷川監事

県からは、静岡県の消費者行政の推進・現在新規作成中の若者向け情報提供サイトについて、第3次消費者行政推進基本計画の中で重点的に取り組む事項について報告がされました。県生協連と各会員生協の取り組み報告の後、見守り体制の強化のための県と市町との連携について、若者向けサイトについて、県の消費者行政や消費者教育推進の担い手について意見交換を行い、今後も連携を進めていくことを確認しました。



防災

静岡市・静岡県合同総合防災訓練

【日時】2018年9月1日(土)・2日(日) 【場所】ツインメッセ静岡他

9月1日(土)・2日(日)に開催された静岡市・静岡県合同総合防災訓練に参加しました。

【テーマ】災害に強く安心・安全に暮らせるまちにしよう！

【県生協連の参加内容】

「駿河区中島中学校の避難所運営訓練で使用する食料品の手配をお願いしたい」との要請を受け、全国生協連携災害対応計画(全国生協 BCP)で静岡県内の中核店舗候補の一つとされているユーコープ千代田店に商品の調達を依頼し、水(500ml)・スポーツドリンク(500ml)各300本、バナナ250本、菓子パン250個、野菜ジュース250本を手配していただきました。

飲料(水・スポーツドリンク)は当日の夕食(防災料理)の際に配布され、蒸し暑い体育館の中で訓練に参加された皆さんに冷たい飲み物をお渡しすることができ、大変喜ばれました。

翌朝は6時30分のラジオ体操のあと、菓子パン、バナナ、野菜ジュースが配布され、前夜からの宿泊訓練に参加した小・中学生が菓子パンコーナーに押し寄せ、好みのパンを選び朝の食事をとっていました。



協同組合間の
連携・協同

富士山麓育林活動

【日時】2018年7月21日（土） 【場所】富士宮市内・協同組合の森

2012年5月12日に国際協同組合年（IYC）記念事業として、富士宮市内に「協同組合の森」の植林を行ってから今年で6年目となりました。

7月21日（土）、JA 静岡中央会、JA 静岡県信連、JA 静岡経済連、静岡県森林組合連合会（事務局）、静岡県労働金庫、全労済静岡推進本部、静岡県労働者福祉協議会、静岡県生協連の各団体から総勢40名が参加し、鎌を片手に生育中のクヌギとコナラの苗木の下草刈りを行いました。

やや曇りの蒸し暑い天気の中、汗を流しながら下草刈作業を行いました。1時間ほどで作業は終了し、成長した苗木が姿を現しました。当初250本ほど植樹しましたが現在成長しているのは80本ほどとなっています。これからも大切に育林活動を進めてまいります。



協同組合間の
連携・協同

協同組合学習交流会

【日時】2018年10月4日（木） 【場所】クーポール（静岡市葵区紺屋町）

「協同組合学習交流会」は静岡県協同組合間提携推進協議会が主催し、県内の農協（JAグループ）、漁協、森林組合、生協の仲間が集い、協同組合に関する学習と団体同士の交流を深める場です。当日は全体で35名が参加しました。

主催者あいさつ（提携協副会長 静岡県生協連会長 稲垣滋彦）に続き、講演「五感イキイキ！楽しく食べる食育」が行われました。講師の小川雄二氏（写真上）は「子どもの食の現状（こ食）」について触れ、子どもたちの食生活の現状に対し、食育とは「食育で豊かな人間性・生きる力を育てる」ことをめさす行動であることを述べ、その取り組みについて、具体的な事例を盛り込みながら報告がされました。

次に、参加者が5つのグループに分かれ、講演から学んだことや感想を出し合い、各グループからの発表では「静岡県のPR不足をどうするか」「不摂生な食生活の解決」「農業・漁業の消費量減少に対し消費者にどうアプローチするか」などグループで話し合われた内容が報告されました。

小川先生から「食とくらしの豊かさのために何ができるかがこの場で求められることであり、従来は様々なレベルでの競争が行われてきたが、これからは協同による解決をどうすすめるかです」との講評がされました。講演と交流を通じ、協同組合の職員同士が食の問題解決のためにできることを深める貴重な場となりました。



ヒロシマ・ナガサキ平和の旅

【日時】2018年8月5日(日)～7日(火) =ヒロシマ、7日(火)～9日(木) =ナガサキ

「核兵器の恐ろしさ、戦争の悲惨さ」や「平和の大切さ」を学び語り継ぐ取り組みとして生活協同組合ユーコープと共同実施しました。今年は、ヒロシマの旅に組合員・家族8名、ナガサキの旅に組合員・家族4名が参加しました。

【ヒロシマの旅】2018年8月5日～7日

(5日)「日本生協連ピースアクション 生協虹のひろば」

(6日)「広島市主催原爆死没者慰霊式並びに平和記念式」「朗読劇『しげる君のまっくろなお弁当』と被爆の証言」「広島街歩き」

(7日)「平和記念資料館」



灯ろうの台紙に平和のメッセージを書きました。灯ろうは川に浮かべられました。



広島街歩き。爆心地(島内科医院)にも寄りました。



リニューアルした平和祈念資料館。プロジェクトマップも導入されました。

【ナガサキの旅】2018年8月7日～9日

(7日)「長崎原爆資料館」

(8日)「城だいさんに聴く被爆の証言(被爆者:城臺美彌子(じょうだい みやこ)さん)」「ナガサキ虹のひろば」

(9日)「平和祈念式典」



組合員の皆さんが折った折鶴を献納しました。



被爆の証言をお聞きました。城だいさんは6歳の時に被爆されました。



長崎原爆資料館ホールにて式典の同時中継を見ました。

【アフター交流会】9月1日

9月1日(土)、ユーコープしずおか県本部会議室にて、組合員と家族6名が参加し、ヒロシマの旅、ナガサキの旅の様子を交流しあいました。被爆地を実際に歩き、被爆者の証言を聞き、被爆遺跡を見て感じたことを参加者一人ひとりが発表しました。さらに交流テーマとして「旅の経験をだれかに話しましたか」を交流しました。「家族や友人に今回の旅の話をした」「学校の宿題でレポートを作成した」などの経験が述べられました。



久保山愛吉氏追悼 9・23 焼津行動

【日時】2018年9月23日（日） 【場所】弘徳院（焼津市浜当目）・焼津公民館

1954年3月1日に南太平洋上で行われた米国による水爆実験により被曝し、人類初の水爆犠牲者となった久保山愛吉さんを悼み核兵器のない平和や世界への誓いの場として「9・23 焼津行動」が行われました。

■墓参行進

晴天の中、焼津駅前には150名を超える方々が集まり、久保山さんの墓のある弘徳院まで墓参行進を行いました。行進にはユーコープ、浜北医療生協の組合員、役職員も参加しました。県生協連は墓前にささげる花（白菊）を手配し、参加者にお配りしました。

■墓前の誓いのつどい

江崎玲子県生協連常務理事の司会で開催され、主催者を代表し大和忠雄氏（静岡県原水爆被害者の会会長）が誓いの言葉を述べました。大和氏からは静岡県内の被爆者の状況と核兵器廃絶のための被爆者の会の取り組み、とりわけヒバクシャ国際署名をさらに広げていくことの大切さが述べられました。各団体からの誓いの言葉ののち、参加者は久保山さんの墓前に白菊を供え核兵器廃絶を誓い、平和を祈りました。午後は、焼津公民館にて焼津集会が開かれ、梶原渉氏（日本原水協・原水協通信編集長）の講演、ドキュメンタリー映画「西から昇った太陽」予告編の上演、各団体からの活動報告がされました。



【お知らせ】「タニタの健康セミナー&食と健康トーク」を開催します

【日時】2018年12月22日（土）10:00～12:30 【場所】静岡労政会館大ホール

前半は（株）タニタヘルスリンクの管理栄養士から「タニタの健康セミナー～女子力アップ 健康美人のつくり方～」と題した講演をいただき、後半は「食と健康」をテーマにテーブルごと試食とおしゃべりします。ファシリテーターは静岡大学教育学部・竹下温子先生。詳細は静岡県生協連まで。



第3回理事会報告

【日時】2018年9月21日（金）13:55～15:30 【場所】静岡県教職員生活協同組合事務所会議室

【出席】理事15名中12名、監事2名中2名 【議長】中村範子常務理事

【協議事項】静岡県生協連主催学習交流企画について

【報告事項】

- (1) 県生協連事業報告
- (2) 会員生協事業報告
- (3) 行政関係報告
- (4) 日生協・中央地連関係報告
- (5) 諸団体関係報告

※理事会終了後、静岡県教職員生協についての学習（歴史・事業概要など）と施設見学を行いました。

